



震災後に増えた施設の維持管理

植田 美枝子

問 千年希望の丘は交流センターを含めて年間予算はいくらか。

復興・都市整備課長 千年希望の丘が約2170万円、交流センターが930万円です。

問 今後、増額はないのか。

復興・都市整備課長 2500万円ほどに膨らむ見込みです。

問 玉浦コミュニティセンターはいくらと見込んでいますか。

さわやか市政推進課長 1400万円と見込んでいます。

問 3カ所の排水機場はいくら想定か。

下水道課長 年間約7000万円と想定しています。

問 新火葬場は旧火葬場に比べて、管理費がいくら上がるのか。

生活環境課長 約4100万円増額になると想定しています。

問 (仮称)岩沼市地域社会活動・地域コミュニティ形成支援施設はいくらか。

さわやか市政推進課長 約2800万円と想定しています。

問 ほかに新設する施設の維持管理費も加えると総額はいくらか。

◎その他の一般質問  
・亀塚第一住宅跡地の応募状況

総務課長 総額2億円と見込んでいます。

問 ごみ最終処分としてプラスになるのはいくらか。

生活環境課長 約5400万円です。

維持費の財源の充当は

問 人口増加が考えにくい中で、市税増収も見込めないと考えるが維持管理費の財源の手当てをどう考えているのか。

総務課長 企業誘致の推進に努めるなど、市税の収収を図っていきます。

問 高齢化が進み、社会福祉費も年々増加が見込まれる。維持管理費がかさみ、市民サービスがおろそかにならないのか。

総務部長 公共施設を安全に利用していただくことも重要な市民サービスです。また、社会情勢の変化に基づいて必要な施設は何かをしっかりと検討していきます。



行政区長制度

大友 健

問 行政区長の仕事とは何か。

市長 地域のために行政と一体となつて動いてもらうことです。

総務部長 広報の配布、市の情報を市民に提供し、(逆に)地域の情報を市に伝えることなどです。

問 区長の人数は、報酬は?

総務課長 100名です。報酬総額は3200万円。一人当たり平均年額32・3万円。多い人で約56万円、少ない人で19万円です。

問 報酬は(広報を配る)労働に対する対価か。

総務課長 任務・業務に対する報酬です。

問 地域には町内会(自治会)もある。町内会との協働の関係を公式に深めてはどうか。

市長 過渡期かなとは思っています。今はきちんと役割を分けていきます。

問 高齢化による町内会の危機をどのように認識しているか。

総務部長 運営の難しさなどの情報は頂いています。

問 少ない人材を生かすため、区長制度と町内会制度をドッキング

するのはいかがでしょうか。

総務部長 町内会の運営で市が行えることなどは、検討すべきだと考えています。

問 政策としてお金を掛け、町内会の活性化を図るのはどうか。

市長 地域発展にはコミュニティづくりが必要だと思います。そういう政策を打っていきます。

問 主たる業務が広報配布の区長制度は必要性が薄れたのでは?

市長 そこまでは来ていません。

問 配布を町内会に移管しては?

市長 区長はいろいろ情報を提供してくれています。

問 区長制度を廃止し、報酬に充てる予算を町内会に交付してはどうか。東松島市では本年度から区長報酬など8800万円を地域自治会のために使うようにした。

市長 方向性はそのように感じていますが、今、廃止は考えていません。東松島市も参考にしながら見極めていきます。